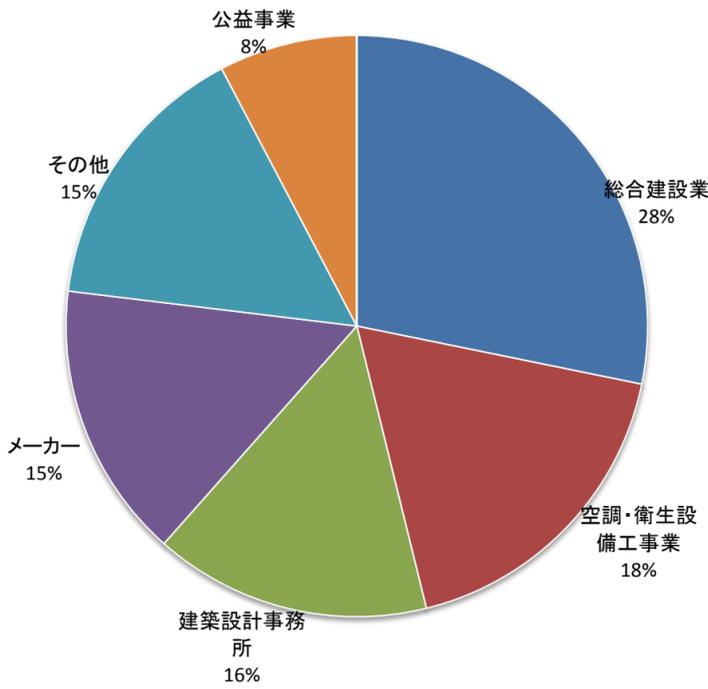


Q1 勤務先の業種について

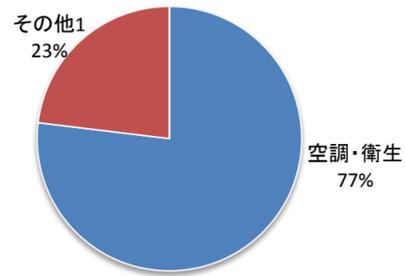
総合建設業	11
空調・衛生設備工事業	7
建築設計事務所	6
メーカー	6
その他	6
公益事業	3
電気設備工事業	0
設備設計事務所	0
不動産・ビル管理業	0
官公庁	0

その他の回答
大学、建設コンサル

Q1 勤務先の業種について



Q2 専門分野について

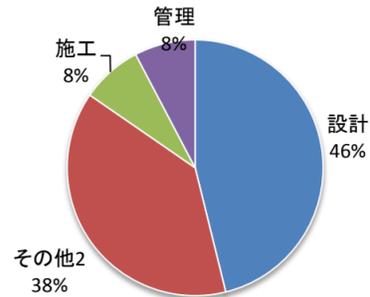


Q2 専門分野について

空調・衛生	30
その他1	9
電気	0

その他の回答
環境関連、窓用フィルム、省エネ、ファシリテイメント、建設コンサル、化学

Q3 業務分野について

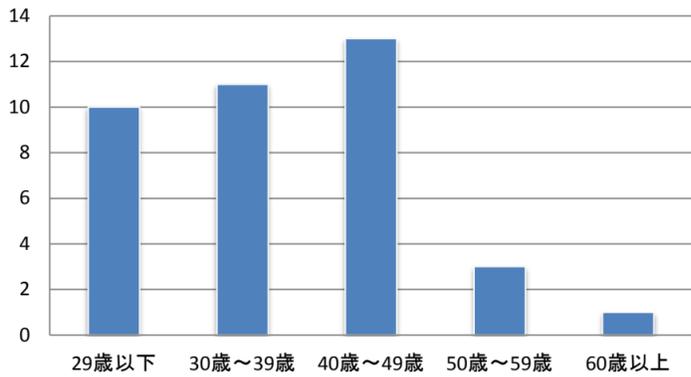


Q3 業務分野について

設計	18
その他2	15
施工	3
管理	3

その他の回答
研究開発4件、窓用フィルム開発、分析、環境

Q4 年齢層について



Q4 年齢層について

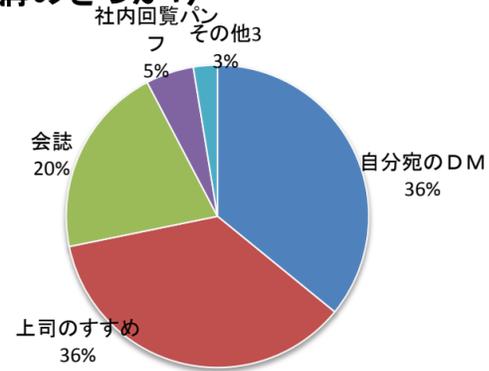
29歳以下	10
30歳～39歳	11
40歳～49歳	13
50歳～59歳	3
60歳以上	1

Q5 受講のきっかけについて

自分宛のDM	14
上司のすすめ	14
会誌	8
社内回覧パンフ	2
その他3	1

その他の回答
コンピュータ委員会委員

Q5 受講のきっかけ



Q6 今後の要望や感想

もう少し時間をかけて勉強したいと思います。午後だけでなく、一日かけても良いと思います。

人ごとながら今までにHASPを使ったことがない方々(講習会の冒頭にて猪岡先生が挙手でお尋ねになった時のことですが)、テキストベースで入力データを書き換え、ファイル指定を書き換え、コマンドラインで実行するプログラムをどう使おうというのかに大変興味がわきました。(大学生がこれから学習・研究のためにパーソナルで使用するというのなら分かりますが)。このアンケートの結果を差し支えなければ、一部でも公開してもらえると有難いです。設備関連プログラムの動向を知る上で参考になると考えています。

- ・建物が特殊な形状をしている場合のデータ入力方法について。例えば、曲面を有する外壁、傾斜している外壁など。
- ・より細かなゾーニング、空気移流の考慮などについて。
- ・計算そのものの仕組みについて
- ・実在建物の入力事例(どの辺を改造して入力することとなるのか)
- ・今回は、初級編ということでしたが、上記項目についてお聞きできればと思いました。他(HASP系とは別の)熱負荷計算ソフトとの違いについても詳しく知りたいと思いました。今後の設計作業に大いに役立てたいと思います。本日はありがとうございました。中級、上級編などあれば、また受講したいです。

サンプルデータが多数入手できて有益であった。

- ・HASPの入力方法について詳しい説明があり、分かりやすかったです。
- ・スケジュールの入力方法が複雑になっている気がしたので、更に詳しい説明会の開催をしていただきたいです。

ありがとうございました。初級編とはいえ、かなりたくさん内容だったと思います。実際にプログラムを使用してみると、不明な点が出てくると思うので、また、講習会を開催していただければと思います。

前回の講習会では概要は分かりましたが、プログラムの操作に慣れていないので難しく使うことができていませんでした。今回の具体的な入力方法を教えていただき、早速業務で使用してみようと思います。省エネルギーのための庇やルーバーによってどれくらいの年間のランニングコストが減るかというような計算をしたいと思っていましたが、NewHASPを使えば現実的な値が出せそうです。

この講習で初めてHASPを動作させました。操作については慣れれば苦なくいけると感じましたが、講習の時間が短く感じました。PCはWindowsXPを探して持ってきましたが、Windows7や8でも問題なく動作しますか？

今回は、NewHASP講習会でしたので、新たに追加された機能(除去熱量の計算など)についてもっと詳しく知りたいと感じました。

海外での計算ができる様になれば良いと感じた。

普段使わない形式なので使う気にならなかったが、今回の講演をきっかけに使えるようトライしようと思いました。基礎から話してもらって助かりました。

今日のお話の中で、いろいろ参考になるトピックがありました。今後ともこのような講習会で、いろいろな最新の話に触れられると良いと思います。定期的な質問や討論の機会ができれば良いと思いました。

ユーザーマニュアルに基づいて自分である程度使い方を勉強していましたが、本日の講習会でより理解が深まりました。事前に配布されたテキストとケーススタディが非常に役立ちました。もし、今後も講習会を開催していただけるなら、また、事前にテキスト等を配布していただけたらありがたいです。今回は、単室がメインでしたので、多数室問題についての講習会も受講してみたいと思います(ペリメータとインテリア間の空気のやりとりなど)。

慣れれば良いかもしれないが、初めて使用するにはプログラムの構成等が分かりにくかった。直感的な操作ができるようになればもっと良いと思う。プログラムの内容(空調負荷の計算)に関してはよく考えられており、今後使う機会が増えれば良いと思います。

有用な講習会であった。ソースコードの説明会もお願いしたい。

入力方法はよく分かりました。途中時間が短く、パソコンで追えない部分がありました。

サンプルのデータとそれに完全にあったテキストがあればと思いました。実際に簡単な入力を全て自分でやっていけるような少人数の講習会があればと思いました。入力時、スペースではなく、カンマなどにできたらいいなと思います。

HASPIにさわるのは初めてでしたが、大まかな使用、使い方がわかりました。一通り、自分で演習しますが、その時に新たに疑問点が出てくるかと思えます。定期的に基本編、中級編、応用編を開催していただけたらありがたいです。本日はありがとうございました。今後、HASP本体の発展(場所、建物用途)にも期待します。

・配布資料というものをもっていませんでしたので、途中わからなくなりました。
・最初のヒアリングでほとんどの人が初級者だったのに、説明が煩雑でわかりませんでした。限られた時間の中で要点を絞って説明してほしいです。
・最後にm²負荷単位しかわからないという点、入力にも結果にもマニュアルを見ないと意味がわからないのではないのでしょうか。

Windowsの新しいバージョンにあわせて作っていただきたい。CADデータを生かして入力できるように。

ひとり予習をしてきましたので、ご説明が頭によく入りました。学生時代にRFを用いたプログラムを作って8ビットのパソコンでシミュレーションしておりましたので、本当に今日の計算速度には感慨深いものがあります。CADの三次元モデル(AutoCAD三次元等)から入力できると面白いと考えております。

実習について駆け足で途中ついて行けないところがあった。HASPの仕組みは理解できました。入力インターフェースの簡略化に期待します。使ってみます。

わかりやすい講義ありがとうございました。中級編も企画いただければ、是非参加したいと思います。

内容はとても分かりやすかったと思います。他にも同じようなソフトウェアがある中で、テキストエディタで編集するのはかなり手間がかかる印象です。カスタマイズできる点が魅力だとおもいます。

初めて学ぶ人にとってはスピードが早かったと思います。時間に追われている感じになるので、一日中でも二日間でも十分に時間を取った方が有意義だと思います。

初めてだったので少々戸惑いもありましたが、一通りの説明で使い方のイメージがわいてきましたので一度使ってみたいと思います。気象データがいろいろデフォルトになって入っているといいと思います。ピーク計算においてTACではなく、建築学会で新しく提案されている気象データを使う場合やその方法、どのデータも公開していただけたらいいなと思います。

分かりやすく解説していただきました。無料で公開されているNewHASPなので、今回のような初級の講習会は今後も開催していただけて、社内の他の者も巡航できると良いと思いました。

エディタソフトが必須であると思いました。

NewHASPを使用する上で熱負荷計算の基礎を把握するための良書を知りたい。2項の回答通り、化学、素材開発担当のため、基礎が不足していると認識しています。または、基礎を絡めたセミナーを希望します。プログラムに関しても同様です。

Q1 マニュアルP16 DSCHのスケジュール指定で、[例1]に”二等辺三角形の変化となることに・・・”とありますが、どういう意味でしょうか？

Q2 接地壁で土より向こう側はどのような扱いになっていますか？(実際の土の温度は入力されず、断熱境界で土は熱容量だけ考えている、と理解してOKでしょうか？)

Q3 (最上階、中間階、最下階)×(各階 5ゾーン)=15ゾーンの建物の計算(PALのイメージ)は、「最上階 中間階」「中間階 最下階」に分けて計算するしかないでしょうか？

Q4 WNDWの性能値をDSCHで時刻毎に変化させられる、とマニュアルにありましたが、季節毎(夏・冬)で変化させることはできますか？

(Q1~Q4については、講習会での質疑応答で解決済み)